

恋愛関係が普段の高校生活に及ぼす影響について

溝端航（兵庫県立北摂三田高等学校）

研究動機

恋愛が高校生活にどんな影響を与えているのか、自分自身も気になっていたため、友達や周りの人の意見や経験を通して、その良い面や悪い面をもっと深く知りたいと思ったため。

先行研究と研究テーマ

先行研究では、アンケートを実施し変化についての記述を類似性に基づき分類、それぞれのポイントを比較。

→実際にアンケートを制作、実施し、その結果からどのような変化があるのか研究

研究手法

まず、性別ごとに恋愛関係をもっている・もったことがあるかを調査。恋愛関係をもっている・もったことがあると答えた回答者に、恋愛関係を持ったことによる勉強・睡眠時間の変化(選択)、その他の変化(自由記述)についての回答を求めた。

研究結果 回答数-27 件

男性

勉強時間 増加-8.3% 変化なし-83.3% 減少-8.3%

睡眠時間 増加-0.0% 変化なし-75.0% 減少 25.0%

ポジティブな変化

学校に行くのが楽しくなった。 努力するようになった。 自信が持てるようになった。

ネガティブな変化

自分の時間が減った。 不安になることが多くなった。

女性

勉強時間 増加-0.0% 変化なし-40.0% 減少-60.0%

睡眠時間 増加-0.0% 変化なし-50.0% 減少-50.0%

ポジティブな変化

頑張ろうと思えるようになった。 毎日が楽しくなった。

ネガティブな変化

悩みが増えた。 不安になることがある。

まとめ

恋愛関係をもつことによる勉強・睡眠時間の減少は、男性にはみられず、女性には多く見られた。恋愛関係をもつことは、良い影響だけでなく悪い

参考文献

高坂 康雅『恋愛関係が大学生に及ぼす影響と、交際期間、関係認知との関連』（筑波大学大学院人間総合科学研究科，2009 年）